

証券コード: 5938

LIXIL
Link to Good Living

2015年3月期 決算説明資料 (2014年4月－2015年3月)

2015年6月8日

株式会社 LIXILグループ

この資料には、(株)LIXILグループの将来についての計画と予測の記述が含まれています。これらの計画と予測は、リスクや不確定要素を含んだものであり、実際の業績は様々な重要な要素により当社の計画・予測と大きく異なる結果となる可能性があります。

Copyright © LIXIL Group Corporation, All rights reserved.

アジェンダ

LIXIL

- 2015年3月期 決算の概要
- 新体制における2016年3月期の見通し
- トピックス
- ご参考 (Appendix)

Copyright © LIXIL Group Corporation, All rights reserved.

2015年3月期 決算の概要

※2015年3月期の国際会計基準(IFRS)ベースの実績は速報ベースのため、変更になる可能性があります。

Copyright © LIXIL Group Corporation, All rights reserved.

Joyou影響前では厳しい環境の中 修正後当期利益公表値上値達成



	レンジ 下値	15/2/2発表 業績予想レンジ 見通し	レンジ 上値
売上	16,600		16,750 16,734
経常利益	530		600 579 582
当期純利益	245 220		310 310
のれん償却前EPS	125 112		147 142

15/3期Joyou影響前実績

15/3期実績

2015年3月期 連結業績結果(日本基準)

単位:億円

	14/3期	15/3期	前年比		15/3期	Joyou影響
	実績 (訂正後)	実績	増減	%	実績 (Joyou前)	
売上高	16,287	16,734	447	2.7%	16,734	-
事業利益 *1	691	517	-174	-25.2%	517	-
事業利益率	4.2%	3.1%	-	-1.2P	3.1%	-
経常利益	749	579	-171	-22.8%	582	3
税前当期純利益	491	530	39	8.0%	624	94
当期純利益	210	220	11	5.1%	310	90
のれん償却前 当期純利益	263	326	63	23.9%	415	90
のれん償却前 EPS(円)	90	112	21	23.5%	142	31
EBITDA *2	1,248	1,089	-159	-12.8%	1,089	-
EBITDA 比率	7.7%	6.5%	-	-1.2P	6.5%	-

*1 従来の「営業利益」

*2 EBITDA=事業利益+減価償却費+のれん償却費

Copyright © LIXIL Group Corporation. All rights reserved.

4

フリーキャッシュフローは前年比1,445億円増

単位:億円

	14/3期	15/3期	増減額	16/3期
	実績 (訂正後)	実績		予想
税金等調整前当期純利益	491	530	39	
減価償却費	492	507	16	650
減損損失	16	39	23	
法人税等支払	-113	-212	-99	
運転資本	-422	522	944	
その他	371	3	-368	
営業キャッシュフロー	835	1,389	554	
投資キャッシュフロー	-2,183	-1,292	891	
(うち有形・無形資産取得支出)	-653	-626	27	800
フリーキャッシュフロー	-1,348	97	1,445	
財務キャッシュフロー	1,531	100	-1,431	

Copyright © LIXIL Group Corporation. All rights reserved.

5

LIXILの財務基盤は強固

	14/3月末 (訂正後)	15/3月末	増減額
現預金	1,630	2,573	943
売掛債権	4,872	4,439	-434
棚卸資産	2,109	2,276	168
有形・無形固定資産	6,296	6,495	199
その他	2,956	2,970	14
総資産	17,863	18,752	890
買掛債務	2,358	2,330	-28
有利子負債	6,265	6,760	495
その他	3,222	3,526	304
負債合計	11,845	12,616	771
自己株式	-418	-562	-144
その他	6,436	6,699	263
純資産	6,018	6,137	119
自己資本比率 (%)	33.2	32.1	-1.1P
一株当たり純資産 (円)	2,041.34	2,104.27	62.93
期末株式数 (千株)	290,733	286,352	-4,381
ROE (%)	3.6	3.7	+0.1P
ROA (%)	1.3	1.2	-0.1P

単位:億円

- 現預金増は有利子負債返済原資
- 運転資本改善進む
- CB1,200億発行を含め、Net有利子負債は4,187億円 (-428億円)
- ネットD/Eレシオ 68% (14/3期末77%)
- 自己株式購入200億円実施
- 自己資本比率 -1.1P

Copyright © LIXIL Group Corporation. All rights reserved.

6

Joyou問題 今後の対応

- 社内調査委員会 (委員長:代表執行役社長) を6月3日付で設置いたしました。外部専門家の援助を得ながら調査を継続し、判明した事実に基づき再発防止策を策定・実施し、法的措置を取ってまいります。
- さらに世界レベルでグループ全体を対象とする全社ビジネス監査組織 (コーポレートオーディットスタッフ) を構築します。また、社内で内部統制に必要な人員配置を行ってまいります。
- 当社取締役会は、執行役による上記社内調査の結果を検証し、業務執行を適切に監督する観点から、社外取締役及び当社と利害関係のない外部有識者による特別調査委員会 (以下、Joyou問題委員会) を本日付で設置いたしました。

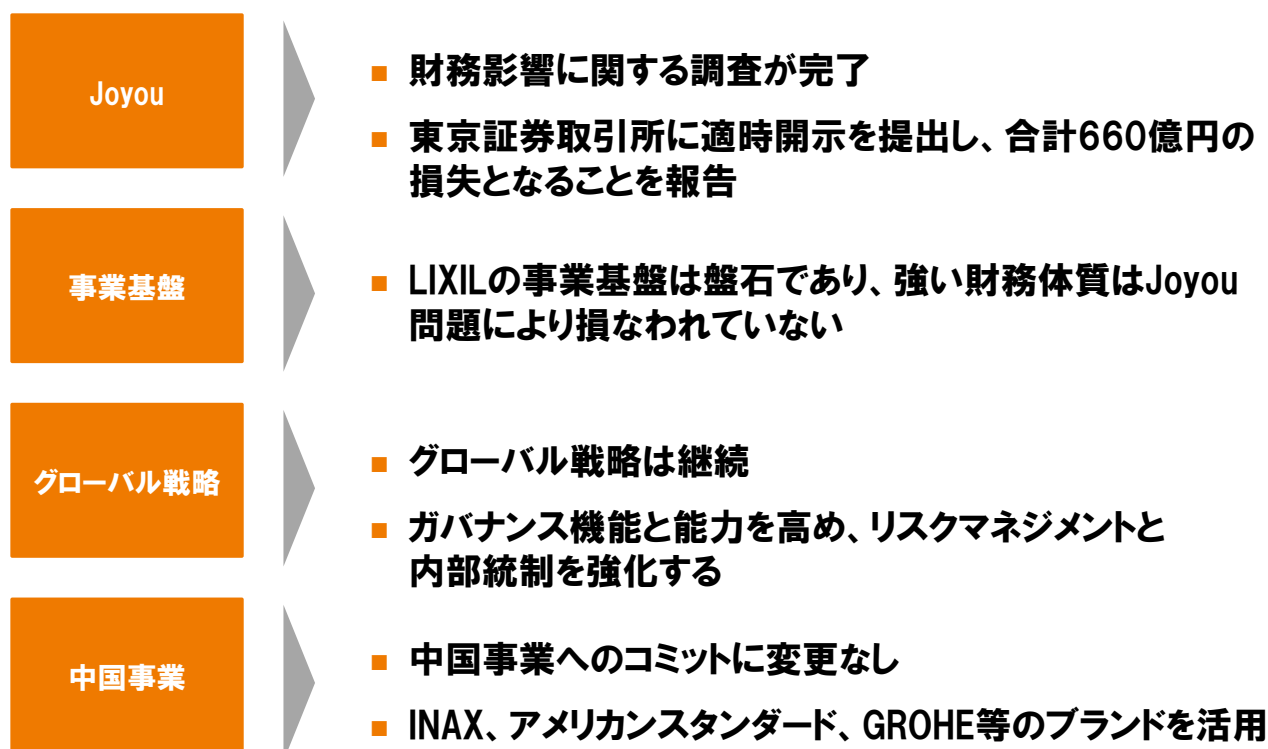
≪Joyou問題委員会の構成(敬称略)≫
 委員長 川口 勉 (公認会計士)
 (当社社外取締役)
 委員 中村 直人 (弁護士)
 (中村・角田・松本法律事務所)
 委員 高岡 俊文 (公認会計士)
 (KPMG FAS 執行役員パートナー)

Copyright © LIXIL Group Corporation. All rights reserved.

7

- 本件不正会計の動機、手法、関与当事者等は、現時点において明らかではありません。今後、Joyou問題委員会による調査結果が明らかになった段階で速やかに公表いたします。
- 今後、この社内調査委員会とJoyou問題委員会からの提言をふまえて、以下のような観点で抜本的な再発防止策を早急に検討することとし、財務報告に係る内部統制の重要な不備の是正に着手していきます。
 - (1) グローバルなコンプライアンス意識の徹底
 - (2) リスク特性に適合した内部統制の再構築
 - (3) 内部監査およびモニタリング体制の強化
 - (4) 当社から海外子会社等への管理体制の強化
 - (5) 海外子会社等の人員の教育充実

2016年3月期の重点項目



新体制における2016年3月期の見通し

真のグローバル組織としての成長

Copyright © LIXIL Group Corporation, All rights reserved.

成功への三本の柱



世界中のマーケットを率いるブランド



LIXIL Water Technology



衛生陶器 国内 No.2
ユニットバス 国内 No.1



水栓金具 グローバル No.1



衛生陶器北米 No.1



LIXIL Housing Technology



窓サッシ 国内 No.1
エクステリア 国内 No.1
玄関ドア 国内 No.1



LIXIL Building Technology



カーテンウォール グローバル No.1



LIXIL Kitchen Technology



キッチン 国内 No.1



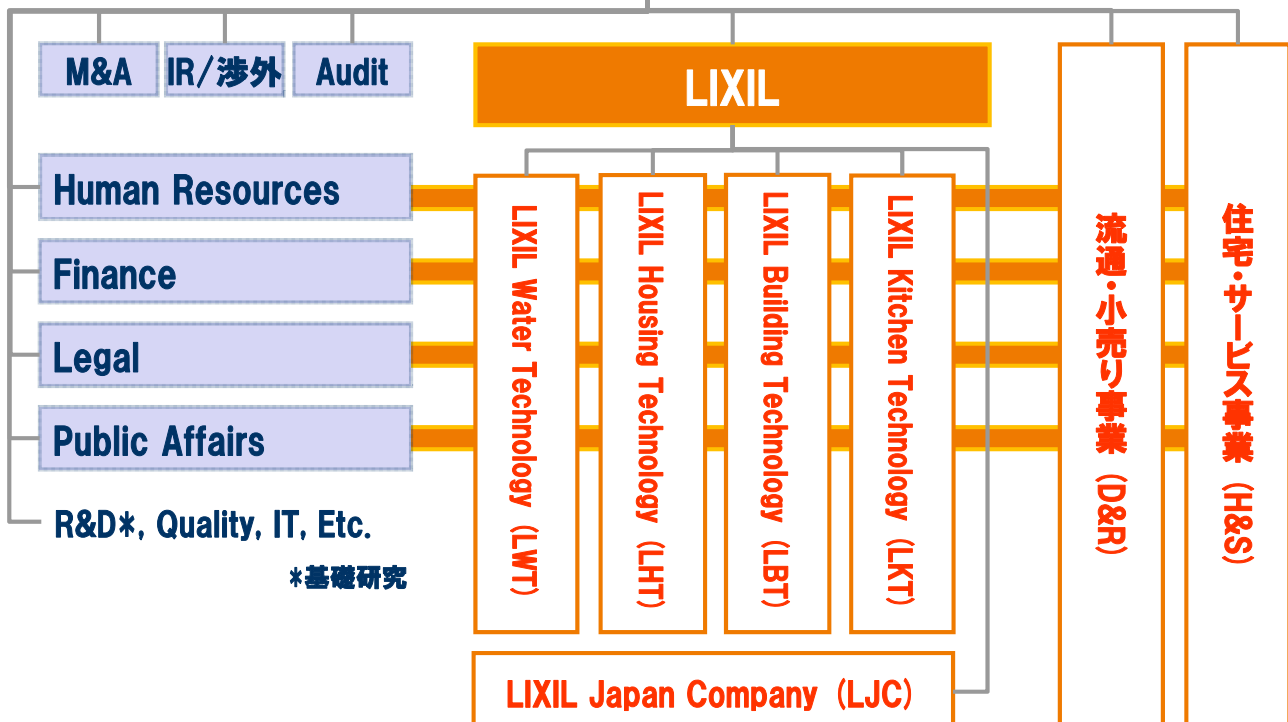
Copyright © LIXIL Group Corporation. All rights reserved.

12

今回、新体制の有効性を確認



LIXIL Group



Copyright © LIXIL Group Corporation. All rights reserved.

13

2016年3月期業績予想

GROHE連結、IFRSへ移行

<対外公表値ベース>

単位:億円

	15/3期 実績 (日本基準)	16/3期 (IFRS)			増減	16/3期 予想 (日本基準)	IFRS vs 日本基準 増減
		上期	下期	通期予想			
売上高	16,734	9,300	10,000	19,300	2,566	18,700	600
事業利益*1	517	220	530	750	233	520	230
事業利益率	3.1%	2%	5%	4%	-	3%	-
営業利益*2	-	-	-	400	-	-	-
営業利益率	-	-	-	2%	-	-	-
税前利益	530	-	-	340	-190	170	170
当期純利益	220	-	-	225	5	30	195
のれん償却前 当期純利益	326	-	-	225	-101	170	55
のれん償却前 EPS (円)	112	-	-	79	-33	59	19
EBITDA*3	1,089	-	-	1,400	311	1,319	81
EBITDA比率	6.5%	-	-	7.3%	-	7.1%	-

GROHE影響 (億円)	
売上	
IFRS	+1,900
日本基準	+1,420
事業利益	
IFRS	+190
日本基準	+60

Joyou損失 (億円)	
	-330
IFRS:	営業利益
日本基準:	特別損失

*1 日本基準では従来の「営業利益」、IFRS基準では「売上-売上原価-販管費」(特損益など一時費用を除いた利益)

*2 IFRS基準の「営業利益」

*3 日本基準では「事業利益+減価償却費+のれん償却費」、IFRS基準では「事業利益+減価償却費」

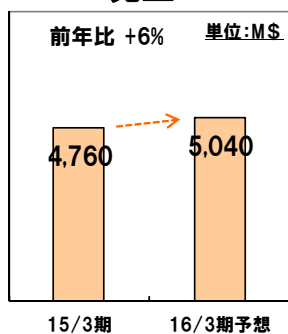
Copyright © LIXIL Group Corporation, All rights reserved.

LIXIL Water Technology – LWT

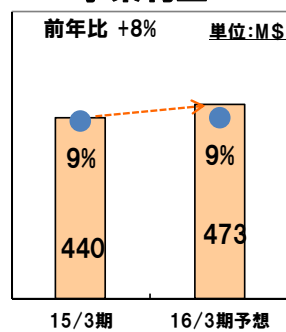
Water Technologyの新たなグローバルリーダー



売上



事業利益



※マネージメントノーマライズドベース ●: 利益率

- ✓ 巨大な成長市場
- ✓ グローバルマーケットリーダー
- ✓ 主要地域における先駆者
- ✓ マルチのグローバルブランド
- ✓ イノベーションリーダー
- ✓ コストシナジーを最大化するためのプラットフォーム戦略
- ✓ 中国戦略は再構築中

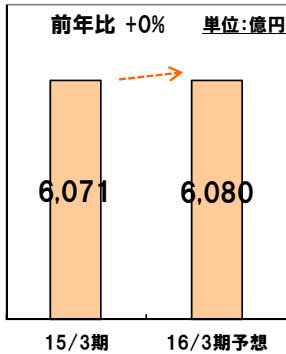


Copyright © LIXIL Group Corporation, All rights reserved.

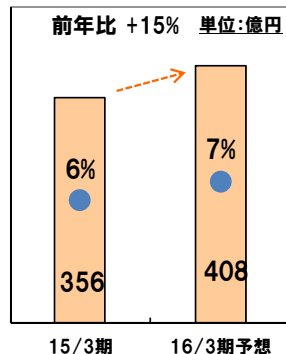
LIXIL Housing Technology – LHT

蓄積されたブランド力とテクノロジーを持つ日本の長年にわたる先駆者

売上



事業利益



※マネージメントノーマライズドベース ●：利益率



Copyright © LIXIL Group Corporation, All rights reserved.

- ✓ SCMの最適化や最新の工場自動化システムの導入により、国内の利益体質改善のための体質改革
- ✓ 市場の需要を満たすトップランナー基準を満たす製品投入の継続
- ✓ 国内リフォーム需要や海外展開の加速により国内新築依存からの脱却
- ✓ 今期は好スタート

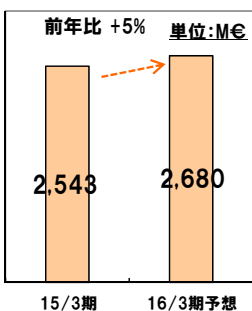


LIXIL Building Technology – LBT

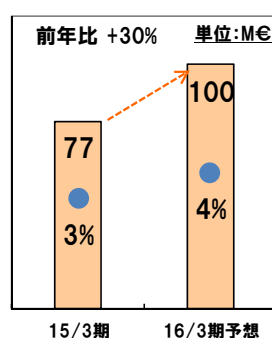
世界中の都市景観を築いてきた15年にわたるグローバルリーダー



売上



事業利益



※マネージメントノーマライズドベース ●：利益率

- ✓ LBTのグローバル事業をペルマに集約し、利益率を改善
- ✓ 東京オリンピックの特需を捕える
- ✓ 新規プロジェクトやマーケットの選定
- ✓ プロジェクト利益率統制は今の受注残粗利にも反映



AMERICA
(8 Spruce Street, NYC)



EUROPE
(The Shard, London)



ASIA
(Prada Aoyama, Tokyo)

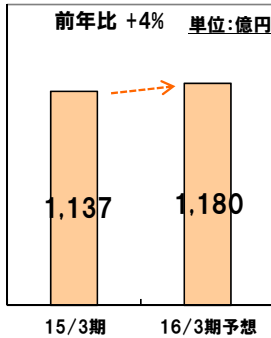
Copyright © LIXIL Group Corporation, All rights reserved.

LIXIL Kitchen Technology – LKT

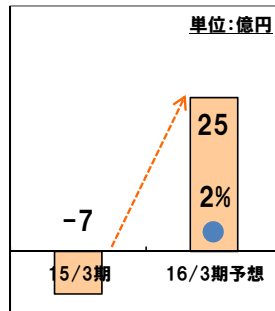
シェアおよび収益性のV字回復



売上



事業利益



※マネージメントノーマライズドベース ●: 利益率

- ✓ 人工大理石やステンレスの他、セラミックを天板に使用した新商品を続々投入。中高級品市場の強化
- ✓ 現地のパートナーのハイアールと共に中国のビジネスの拡大

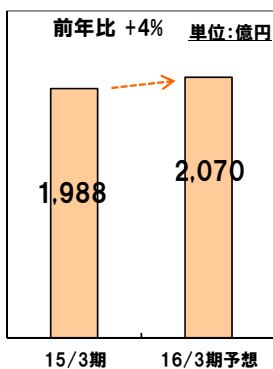


流通・小売り事業 – D&R

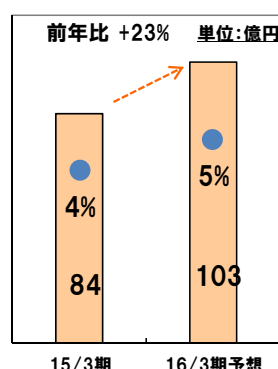
11年(～16/3期予想)連続増収 過去最高益更新



売上



事業利益

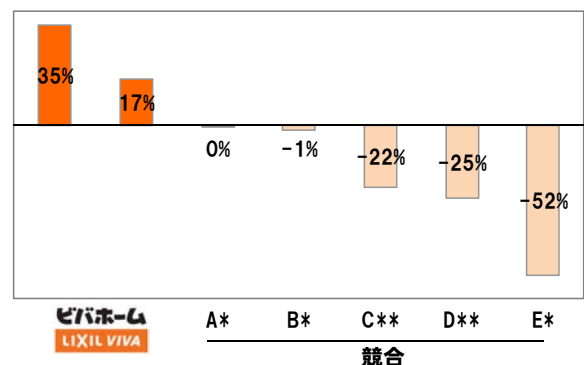


※マネージメントノーマライズドベース ●: 利益率

- ✓ 成長戦略による売上拡大と構造改革による効率化で増収増益を継続し、高収益体質を確立



15/3期のホームセンターの
前年比 事業利益成長率 比較(対競合)



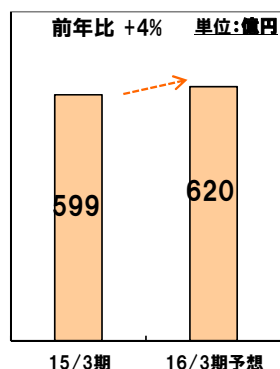
(3月～2(4月～3月) 月) *年度:3月～2月, **年度:4月～3月 19

住宅・サービス事業 - H&S

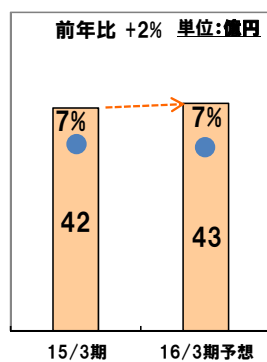
日本最強レベルの住宅・サービス事業ネットワーク



売上



事業利益



※マネージメントノーマライズドベース ●: 利益率

- ✓ LIXILグループの総合力と新サービスにより、住まいと暮らしの価値を高めるソリューション & サービスビジネスを戦略的に展開
- ✓ 各事業のプラットフォーム機能 & 金融サービス事業開始
- ✓ スtock領域ビジネス・・・住宅検査・評価・維持管理、住み替え対応ビジネス
- ✓ 高齢化社会の住生活サービス



2016年3月期 マネージメントKPI (報酬連動ベース)

	David J. Haines LWT	井植 敏雅 LHT	Nicola Greco LBT	藤森 義明 LKT	豆成 勝博 D&R	松村 はるみ H&S	HQ及び 連結調整	※ 合計	換算レート リスク & PPA	連結公表 ベース (IFRS) Vs. 15/3期 実績 (IFRS)
管 理 通 貨	M\$	億円	M€	億円	億円	億円	億円	億円	億円	億円
売 上 高	5,040	6,080	2,680	1,180	2,070	620	-	19,480	-180	19,300
前年比 (%)	+6%	+0%	+5%	+4%	+4%	+4%	-	-	-	+13%
ノーマライズドEBIT	473	408	100	25	103	43	-414	860	-110	750
前年比 (%)	+8%	+15%	+30%	-	+23%	+2%	-	-	-	+40%

※円貨換算レート 1\$=120円、1€=130円

株主還元

■ 配当方針

配当金についてはのれん償却影響を除く連結ベースでの配当性向30%以上を維持

	14/3期	15/3期	16/3期 (予定)
上期	25円	30円	30円
下期	30円	30円	30円
通期	55円	60円	60円
のれん償却影響を 除く配当性向	60.8%	53.7%	101%

■ 自己株式取得

資金状況、株価水準を判断し、機動的に実施する方針。

■ 株式会社の支配に関する基本方針

当社では、多数の株主に株式を中長期で保有していただくことが望ましいと考え、業績を向上し企業価値を高めて、株主の支持をいただけるような施策を打ってまいります。よって、敵対的買収防衛策については、特に定めておりません。

LIXILグループ 役員体制の変更

(株)LIXILグループ（指名委員会等設置会社）

- 取締役一覧：（2015年6月26日定時株主総会后）（●は新任、□は独立役員、下線付きは女性）

取締役	潮田 洋一郎	社外取締役	數土 文夫	□
取締役	藤森 義明	社外取締役	佐藤 英彦	□
取締役	筒井 高志	社外取締役	川口 勉	□
取締役	金森 良純	社外取締役	幸田 真音	□
取締役	菊地 義信	社外取締役	Barbara Judge	● □
取締役	伊奈 啓一郎			



Barbara Judge氏

グローバルな
ベスト・
プラクティスと
ガバナンスに
関する豊富な
経験に期待

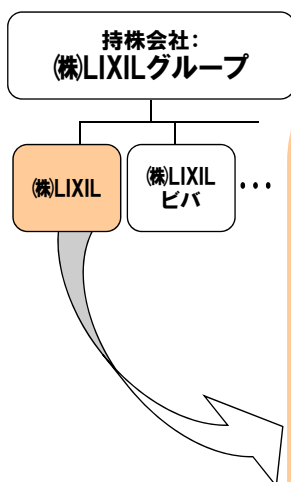
- 執行役一覧：（※は取締役兼任、下線付きは女性）

※ 代表執行役社長 兼 CEO	藤森 義明	※ 執行役専務	金森 良純
代表執行役副社長	川本 隆一	執行役専務	松村 はるみ
※ 執行役副社長	筒井 高志	執行役専務	Laurence W. Bates
執行役副社長	八木 洋介	執行役専務	<u>Jin Song Montesano</u>
執行役副社長	松本 佐千夫	執行役	豆成 勝博

(株)LIXILの役員一覧 (2015年6月25日定時株主総会后)

(株)LIXIL(監査役設置会社)

(株)LIXIL役員一覧



藤森 義明
代表取締役社長 兼
Chief Executive
Officer (CEO)
兼
LIXIL Kitchen
Technology
CEO



David J Haines
取締役
LIXIL Water Technology
CEO
(兼)
GROHE Group S. a. r.l.
Chairman and CEO



井植敏雅
取締役 副社長執行役員
LIXIL Housing Technology
CEO



Nicola Greco
取締役
LIXIL Building Technology
CEO
(兼)
Permasteelisa Group
Chief Executive Officer (CEO)



白井 春雄
取締役 副社長執行役員
LIXILジャパンカンパニー
CEO



松本 佐千夫
代表取締役 副社長執行役員
Chief Financial Officer (CFO)



八木 洋介
取締役 副社長執行役員
Chief HR Officer



Laurence Bates
取締役 専務執行役員
Chief Legal
Officer (CLO)



Jin Montesano
取締役 専務執行役員
Chief Public Affairs
Officer (CPAO)



二瓶 亮
取締役 専務執行役員
R&D本部長

越田 悟
監査役

坪井 祐司
監査役 ※新任



水まわりのリーディングカンパニーであるGROHEが2015年3月にドイツで開催された衛生設備と空調の最先端を紹介する見本市 ISH に出展

ISH

- 2015年3月10日～14日 ドイツのフランクフルトで開催
- ISHとは、バスルーム・建築・エネルギー・冷暖房・再生エネルギー専門の国際的見本市
- 2,300㎡と広大なGROHE展示ブースを通じて、新商品だけでなく、バスルーム、キッチン、スパのサービスに向けた幅広い商品も紹介
- LIXILとGROHEのグループ共同出展は初めて
- 新しいバスルームを提案
- 国際的な記者会見がDavid J. HainesとMichael Rauterkusによって開催され、60人以上の報道陣が出席



「ダイバーシティ経営企業100選」「なでしこ銘柄」に選定

LIXILグループが、ダイバーシティ推進企業として「ダイバーシティ経営企業100選」「なでしこ銘柄」に選定されました



「ダイバーシティ経営企業100選」(経済産業大臣表彰)は、経済産業省「ダイバーシティ経営によって企業価値向上をした企業」として、累積で約100社を表彰するもの



「なでしこ銘柄」は、経済産業省が東京証券取引所と共同で、東証一部上場企業の中から特に女性活躍推進に優れた企業を選定・発表する事業。2014年に引き続き、2年連続での選定

One LIXILとして全世界の社員が共有する「LIXILグループ行動指針」を策定

LIXILグループ全社員(正社員、パート・アルバイト、契約社員、嘱託社員など)・役員が守るべき行動指針として、全世界共通の「LIXILグループ行動指針」を2015年4月に策定し、周知・浸透に取り組んでいます。

まず日本語と英語の2か国語で発行、6月中に13言語がそろいます。



A-1. Joyou事案のまとめ

- 2015年3月期まで当社グループの持分法適用関連会社であったGROHE (2014年1月出資)を通じて間接的に所有するJoyou AG(本社:ドイツ、フランクフルト証券取引所上場、以下Joyou)が2015年5月22日にお知らせいたしましたとおり、同年5月21日(ドイツ時間)に、破産手続開始の申立を行うことを決定し、その後、同年5月22日(ドイツ時間)に、ドイツ・ハンブルク地方裁判所に対して、破産手続開始を申し立てました。
- その背景としまして、数年度に渡り不正会計が行われており、債務超過状態であることが判明したことによります。
- なお、2015年3月期において、当社グループの同社に対する持分は31.62%でありました。
このため、日本基準では営業外損益の項目に持分法投資損益として連結されていました。

<本日までの経緯>

- 本年4月中旬、当社代表執行役社長及びGROHEのCEO兼取締役会議長宛に、中国国内に支店を持つ金融機関から書簡が届きました。書簡によれば、Joyouの中国における完全子会社であるJoyou Group Building Materials Co. Ltd が、同銀行から供与され、Joyouグループの創業者である、Cai Jianshe (CEO)とCai Jilin (COO) 親子により個人保証された商業手形引受ファシリティの一部の負債が債務不履行に陥ったとの内容でした。
- これを受けて、Joyouの監査役会は、同年4月27日に、会計専門家及び法律顧問による特別監査を実施することを決定しました。
- Joyouは、同年5月3日には上記特別監査により、売上、負債及び利用可能な現金の額が、2014年度の同社の財務報告にて報告された各金額から、大きく乖離しているとの暫定的な結果を公表しました。
- 当社においても、当社代表執行役社長の指示により、4月24日には当社CFO及びCLOを共同代表とする特別調査チームを結成し、同月27日より5月22日までの間、現地にて調査を実施しました。

- 調査手法は多岐にわたり、Joyouによる特別監査と協働しつつ、契約書、覚書等債務額の確定に必要な書類の精査、電子データの取得・精査、銀行・債権者・販売代理店その他関係者との面談、提出書類の精査、Joyou中国子会社マネジメント及び社員の面談等を集中的に行っております。

<当社の初期調査により確認された事実の概要>

- 当社の初期調査の段階で、Joyouグループの創業者によるものと思われる帳簿外の巨額な債務が見つかり、公表されているアニュアルレポートの純資産(2014年12月期で435百万ユーロ=約637億円)との間には1,000億円を超える差異があり、大幅な債務超過に陥っていることがわかりました。
- 上記債務の総額、目的・資金の用途は過去データの意図的な破棄・消去により、現時点では全容解明には至っておりませんが、Joyouの今回の破綻の主要原因であると考えられます。
また、売上の過剰報告、販売費用の過少申告等の不正が行われていました。
- なお、Joyou及びその子会社は、2015年4月1日より当社連結子会社となっていましたが、同社の破産手続の申立に伴い、当社グループの連結財務諸表には含んでおりません。

Joyouの破産に伴う損失の実績及び見込額(連結)

内容	計上時期	段階損益	計上額 (億円)
当初株式取得時における Joyou分の株式価値毀損	14/3期	特別損失	238
Joyouの利益に対する 持分法投資利益取消	15/3期	営業外費用	3
Joyouの実態調査等に係る費用等	15/3期	特別損失	12
追加株式取得における Joyou分の株式価値毀損	15/3期	特別損失	79
Joyouの子会社の債務に 関しての債務保証に関する損失	16/3期 (見込)	特別損失	330
計			662

A-2. フリーキャッシュフローは前年比1,450億円増

バランスシート最適化

15/3期の達成：990億円

- 債権の流動化 780億円
- 資産の売却・証券化 60億円
- 有価証券売却 150億円

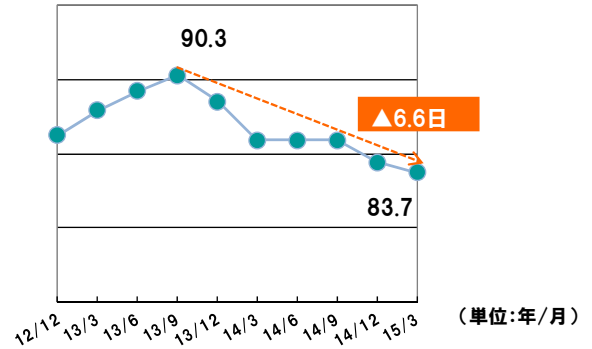
➡ 引き続き16/3期もBS最適化継続

CCC (オペレーション効率化)

目標

1,000億円
16年3月期末まで

(単位:日) CCCの進捗と目標



17/3期の目標：55日

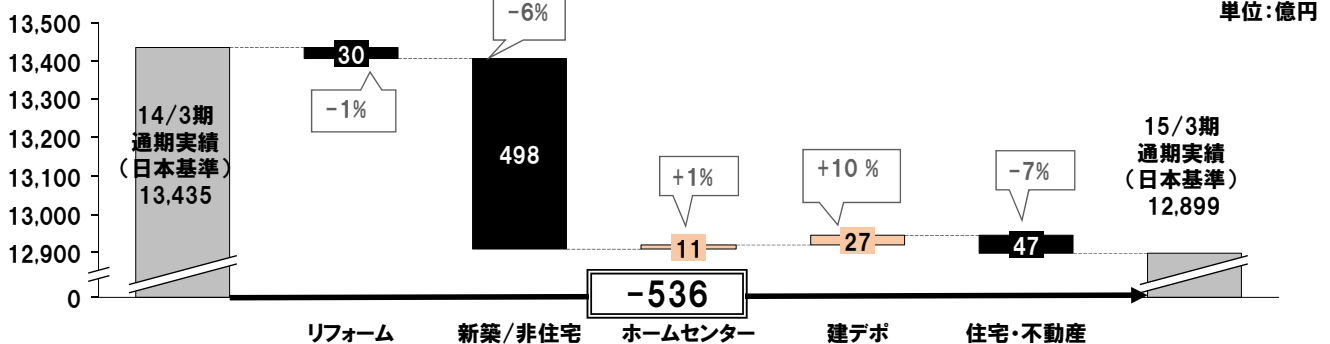
※活動ベース、日本基準

A-3. 2015年3月期 国内売上・事業利益の増減 (前年差)

売上

-4%

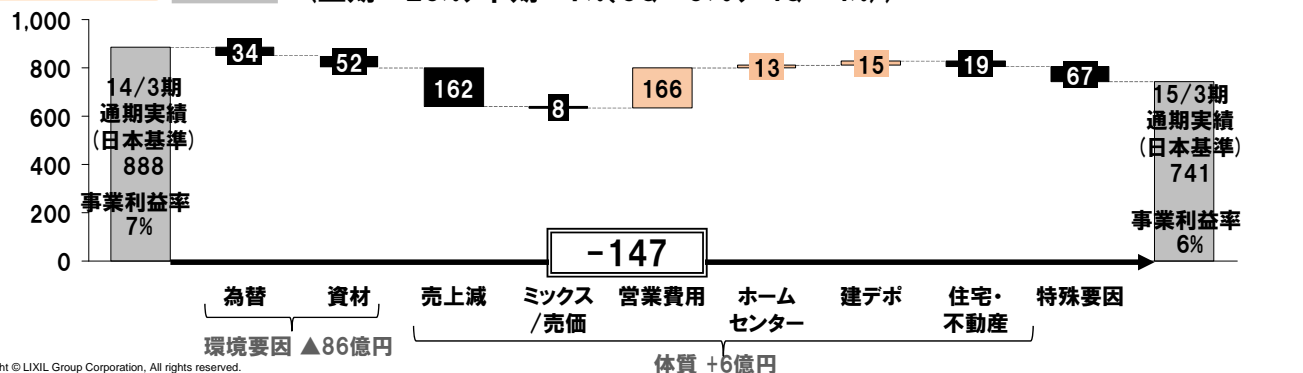
(上期 -1%、下期 -6%(3Q -4%、4Q -8%))



事業利益

-17%

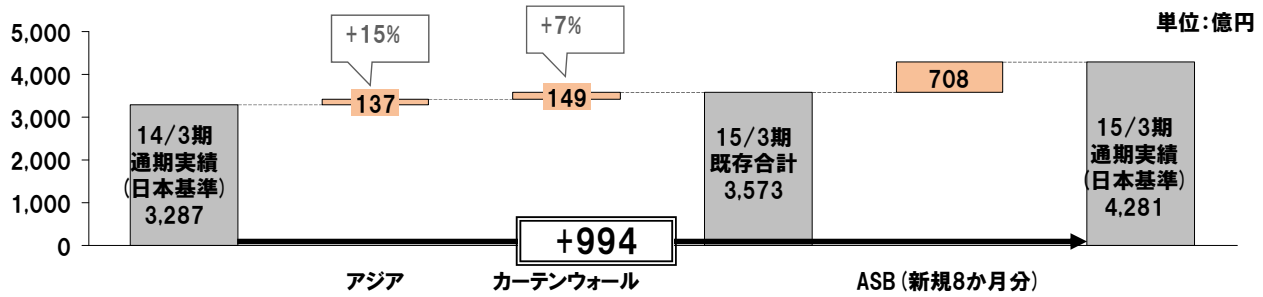
(上期 -29%、下期 -7%(3Q -9%、4Q -4%))



A-4. 2015年3月期 海外売上・事業利益の増減 (前年差) LIXIL

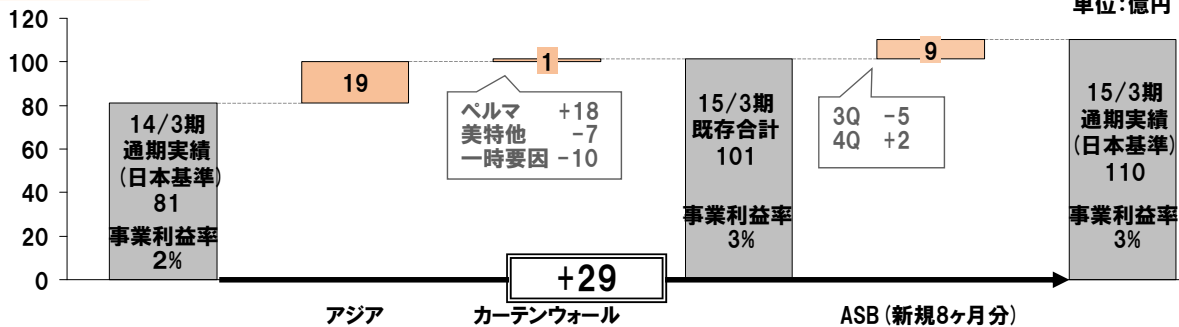
売上

+30% (既存 +9%)



事業利益

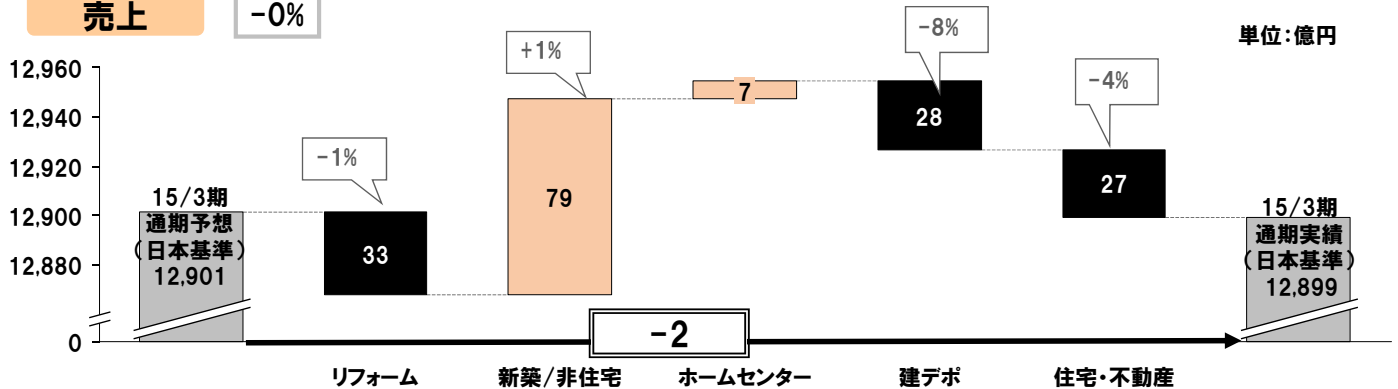
(連結無形資産償却除く)



A-5. 2015年3月期 国内売上・事業利益の増減 (予想差) LIXIL

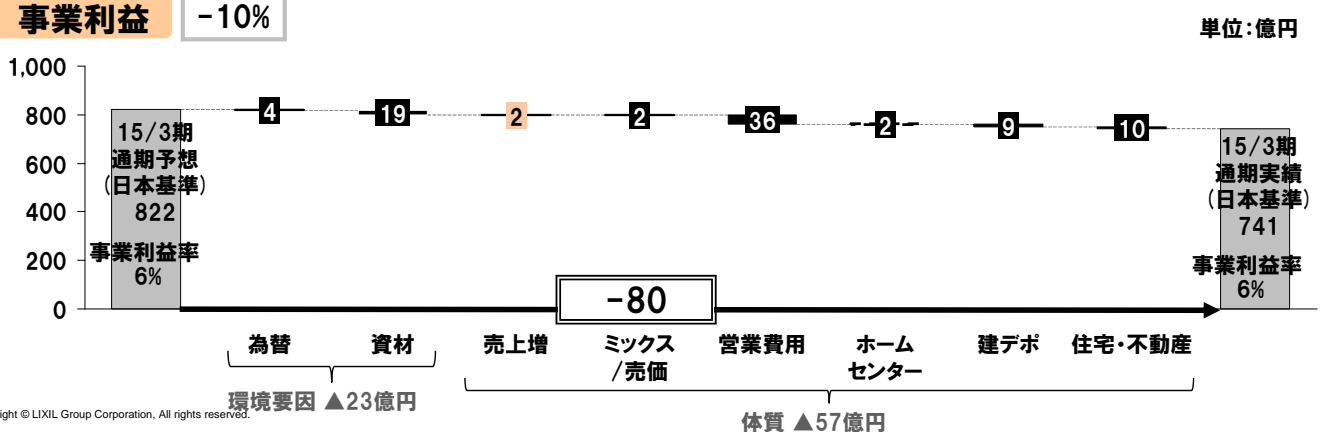
売上

-0%



事業利益

-10%

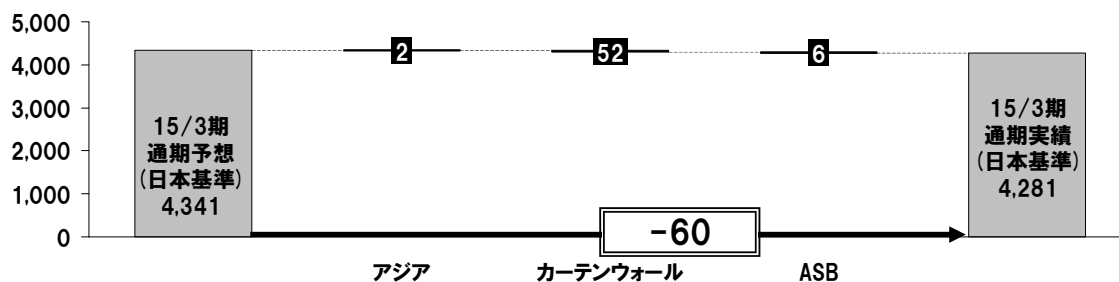


A-6. 2015年3月期 海外 売上・事業利益の増減 (予想差) LIXIL

売上

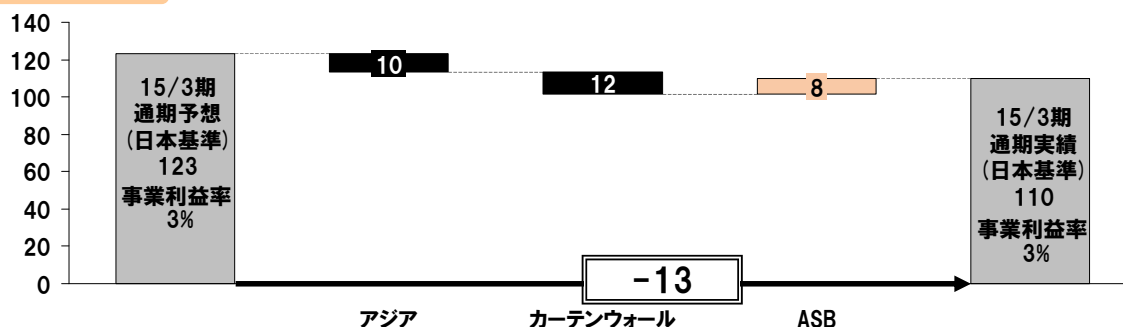
-1%

単位: 億円



事業利益 (連結無形資産償却除く)

単位: 億円



Copyright © LIXIL Group Corporation, All rights reserved.

38

A-7. その他 (1)

LIXIL

■ 特別損益

単位: 億円

科目	14/3期 実績	15/3期 実績	増減額	内容	IFRS項目
投資有価証券売却益	18	111	+92		金融収益及びその他の金融費用
持分変動利益	-	11	+11	K-engine事業分離による	持分法による投資利益
固定資産売却益 他	11	13	+1		その他の収益
特別利益	30	134	+105		
減損損失	16	39	+23	中国工場閉鎖等	その他の費用
工場再編関連損失	4	17	+13	中国工場他	その他の費用
のれん償却額等修正差額	-	5	+5	ASB	-
関係会社投資関連損失	238	91	-147	Joyou分の株式価値毀損	その他の費用
固定資産除売却損 他	30	31	+2		その他の費用
特別損失	288	183	-105		

Copyright © LIXIL Group Corporation, All rights reserved.

39

A-7. その他 (2)

■ 為替の影響

単位: 億円

	レート	事業利益*	営業外損益	経常利益
15/3期 予想値	1\$=105円	-30	-	-30
15/3期 通期実績	1\$=110円	-34	112	78
16/3期 予想値	1\$=125円	-130	-	-130

※日本基準ベースでの影響項目

■ 税金費用 (税金負担率 前期57% ⇒ 当期58%)

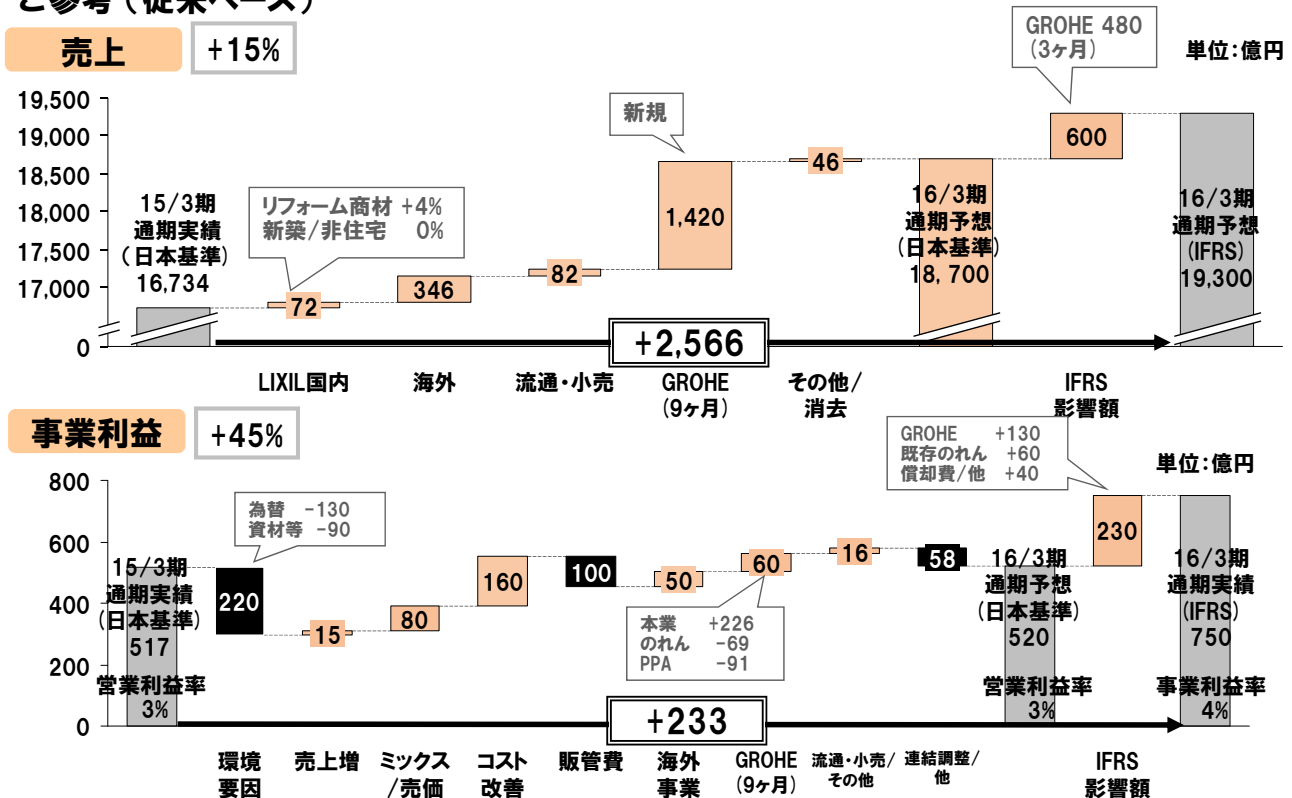
前期、当期ともに関係会社投資関連損失の計上があったことなどから税金負担率が増加。なお通常の負担率は次のとおり。

通常実効税率34.6%(~15/3期)⇒32.1%(16/3期)、31.3%(17/3期~)

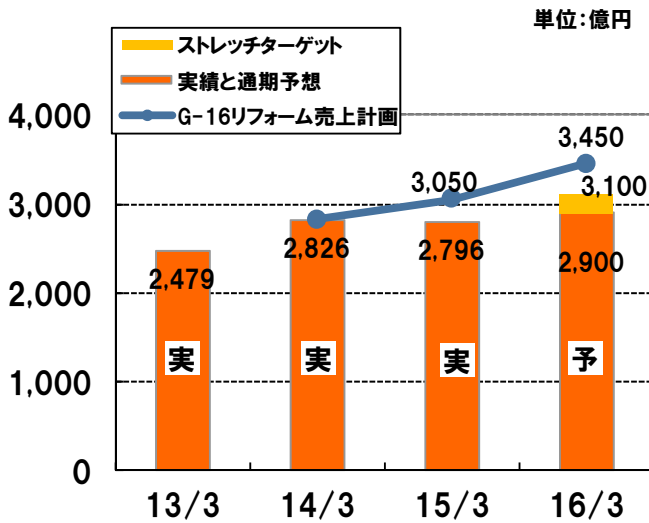
■ 国際会計基準 (IFRS) の正式な適用は16年3月期末から予定

A-8. 2016年3月期 売上・事業利益予想の増減 (前年差)

ご参考 (従来ベース)



A-9. 今後も成長が見込まれる国内リフォーム事業



国内の主なトレンド

- 高齢化
- 省エネ
- 耐震

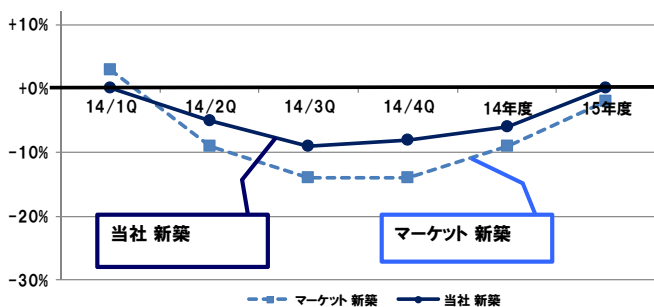
G-16: 2014年5月開示 中期経営計画

A-10. 国内売上を保守的に想定した利益改善を図る

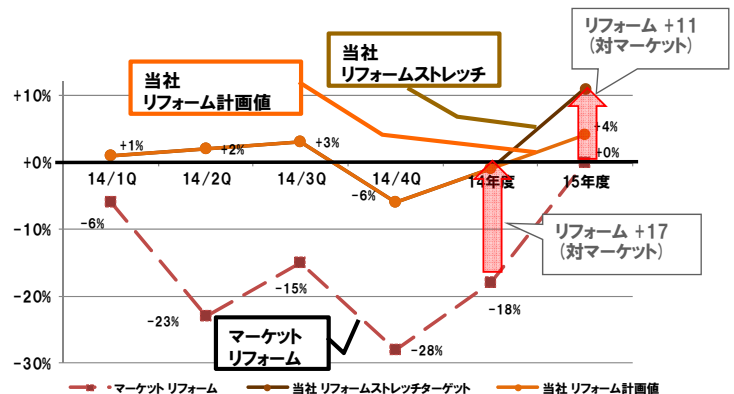
LIXIL 予想前提

前年比伸び率		14年度 実績	15年度 予想
マーケット	新築	-9%	-2%
	リフォーム	-18%	+0%
	新築	-6%	0%
	リフォーム (ストレッチターゲット)	-1%	11%
	リフォーム (計画値)	-1%	4%

新築市場



リフォーム市場



期初予想(初年度130億円)を達成してスタート

項目	主な施策	16年度 改善目標*2	14年度 財務諸表 反映実績
SCM	<ul style="list-style-type: none"> ■ 営業・工事情報一元化 ■ 生産・物流拠点最適化 ■ ロジスティック改善 ■ 戦略購買 ■ CCC改善に伴う効果 	550億円	116億円
粗利の改善	<ul style="list-style-type: none"> ■ プロセスを可視化する事によるロスコストの削減 ■ 商品ポートフォリオの最適化 	350億円	85億円
間接費など	<ul style="list-style-type: none"> ■ 営業サポートプロセス改善 ■ 商品開発効率化 ■ 販管費削減 	200億円	22億円
内部目標額		1,100億円	223億円
歩留考慮 (コンティンジェンシー)		-330億円	-50億円
国内コア事業		770億円	173億円

*1 BT-16: Business Transformation
*2 3か年累計目標

A-12. ...事業効率化の実施及び予定

年間コスト削減額: 23億円

	実施時期	内容	対応/目的	部門
実施	2014年4月	サンウエーブキッチンテクノ(株)を売却	事業の選択と集中	LWT
	2014年8月	中国 驪住建材(蘇州)の衛生陶器製造ラインを閉鎖	中国American Standard・ベトナム工場へ移管	LWT
	2014年12月	GROHE カナダ工場の閉鎖	ASBメキシコ工場へ移管	LWT
	2015年4月	(株)LIXILとサンウエーブ工業(株)他2社を合併	グループ会社のスリム化	本社
予定	2015年6月	ASB ネバダ工場の閉鎖	ASBメキシコ工場へ移管	LWT
	2015年12月	立野工場(富山県、金属製建材製造)の操業停止	小矢部工場(富山県)に集約	LHT
	2016年3月	青山工場(三重県、電子部品製造)の操業停止	知多工場(愛知県)に集約	LWT



Link to Good Living

2015年3月期決算＜添付資料＞

※本添付資料における『事業利益』は、日本基準(JGAAP)における『営業利益』と同等

1.(1)	通期実績(旧セグメント)	P.1
1.(2)	通期実績(新セグメント)	P.2
2.	2015年3月期上下実績と2016年3月期上下予想	P.3
3.	四半期毎の業績推移	P.4
4.	セグメント別状況① 国内メーカー群 (金属製建材/水回り設備/その他建材設備セグメント)	P.5
5.	セグメント別状況② 流通・小売りセグメントの状況	P.6
6.	セグメント別状況③ 住宅・不動産他セグメントの状況	P.7
7.	商品・サービス別売上状況	P.8
8.	リフォーム事業の状況	P.9
9.	海外生産比率・海外売上	P.10
10.	ペルマスティリーザ	P.11
11.	ASB	P.11
12.	アジア事業	P.12
13.	GROHE	P.12
14.	連結子会社数の推移	P.12
15.	のれん	P.13
16.	近年実施したM&A一覧	P.13
17.	IFRS/JGAAPの主要な会計処理相違点	P.14
18.	IFRS/JGAAP段階利益	P.14

2015年6月8日



株式会社 LIXILグループ^o

※この資料には、(株)LIXILグループの将来についての計画と予測の記述が含まれています。これらの計画と予測は、リスクや不確定要素を含んだものであり、実際の業績は様々な重要な要素により当社の計画・予測と大きく異なる結果となる可能性があります。

1. (1)通期実績(旧セグメント、日本基準)

単位:億円

	13/3期 実績 (ご参考)	14/3期 実績	15/3期 実績	前年同期比	
				増減	(%)
金属製建材	4,850	5,177	5,024	-154	-3.0%
水回り設備	3,394	3,597	3,391	-206	-5.7%
その他建材・設備	1,840	2,068	1,901	-167	-8.1%
国内建材類 小計	10,083	10,843	10,315	-527	-4.9%
流通・小売り	1,754	1,951	1,988	38	1.9%
住宅・不動産他	593	642	596	-47	-7.3%
国内事業 合計	12,430	13,435	12,899	-536	-4.0%
ア ジ ア	662	946	1,084	137	14.5%
カーテンウォール	1,618	2,050	2,199	149	7.3%
ASB	-	291	999	708	243.1%
海外事業 合計	2,280	3,287	4,281	994	30.2%
調整額	-346	-436	-446	-10	-
売上高	14,364	16,287	16,734	447	2.7%
売上総利益	4,031	4,478	4,473	-5	-0.1%
売上総利益率	28.1%	27.5%	26.7%	-	-0.8P
販 管 費	3,526	3,788	3,956	169	4.5%
販管費比率	24.5%	23.3%	23.6%	-	+0.4P
金属製建材	310	413	344	-69	-16.8%
水回り設備	218	256	202	-55	-21.3%
その他建材・設備	102	116	83	-33	-28.5%
国内建材類 小計	630	785	628	-157	-20.0%
流通・小売り	7	43	71	29	67.7%
住宅・不動産他	52	60	42	-19	-30.9%
国内事業 合計 *	688	888	741	-147	-16.5%
ア ジ ア	14	19	38	19	98.1%
カーテンウォール	69	47	48	1	1.8%
ASB	-	15	24	9	60.5%
海外事業 合計 *	83	81	110	29	35.4%
全社費用・のれん償却等	-266	-278	-335	-56	-
事業利益	505	691	517	-174	-25.2%
金属製建材	6.4%	8.0%	6.8%	-	-1.1P
水回り設備	6.4%	7.1%	6.0%	-	-1.2P
その他建材・設備	5.6%	5.6%	4.3%	-	-1.2P
国内建材類 小計	6.2%	7.2%	6.1%	-	-1.1P
流通・小売り	0.4%	2.2%	3.6%	-	+1.4P
住宅・不動産他	8.7%	9.4%	7.0%	-	-2.4P
国内事業 合計	5.5%	6.6%	5.7%	-	-0.9P
ア ジ ア	2.1%	2.0%	3.5%	-	+1.5P
カーテンウォール	4.3%	2.3%	2.2%	-	-0.1P
ASB	-	5.0%	2.4%	-	-2.7P
海外事業 合計	3.6%	2.5%	2.6%	-	+0.1P
事業利益率	3.5%	4.2%	3.1%	-	-1.2P
経常利益	531	749	579	-171	-22.8%
税前当期純利益	325	491	530	39	8.0%
当期純利益	213	210	220	11	5.1%

*ビジネス別事業利益は「のれん償却、取得原価配分前セグメント利益」を表示しています。

1. (2) 通期実績(新セグメント)

単位: 億円

	JGAAP 14/3期 実績 (ご参考)	JGAAP 15/3期 実績 (ご参考)	前年同期比		IFRS 15/3期 実績 (ご参考)	IFRS 16/3期 予想 (概算値)	前年同期比	
			増減	(%)			増減	(%)
LIXIL Water Tech	3,327	4,003	676	20.3%	4,120			
LIXIL Housing Tech	6,326	5,997	-328	-5.2%	6,172			
LIXIL Building Tech	3,211	3,359	147	4.6%	3,463			
LIXIL Kitchen Tech	1,180	1,137	-43	-3.6%	1,150			
テクノロジーカンパニー 小計	14,043	14,496	453	3.2%	14,904			
流通・小売り	1,950	1,988	38	2.0%	1,944			
住宅・サービス	649	599	-50	-7.7%	623			
調整額	-355	-349	7	-	-376			
売上高	16,287	16,734	447	2.7%	17,095	19,300	2,205	13%
売上総利益	4,478	4,473	-5	-0.1%	4,552			
売上総利益率	27.5%	26.7%	-	-0.8P	26.6%			
販管費	3,788	3,956	169	4.5%	4,018			
販管費比率	23.3%	23.6%	-	+0.4P	23.5%			
LIXIL Water Tech	285	289	4	1.4%	260			
LIXIL Housing Tech	504	366	-138	-27.5%	338			
LIXIL Building Tech	65	93	28	42.8%	74			
LIXIL Kitchen Tech	7	-10	-17	-	-15			
テクノロジーカンパニー 小計	862	738	-124	-14.4%	658			
流通・小売り	46	71	25	54.2%	65			
住宅・サービス	61	42	-19	-30.8%	54			
全社費用・のれん償却等	-278	-335	-56	-	-243			
事業利益	691	517	-174	-25.2%	534	750	216	40%
LIXIL Water Tech	8.6%	7.2%	-	-1.4P	6.3%			
LIXIL Housing Tech	8.0%	6.1%	-	-1.9P	5.5%			
LIXIL Building Tech	2.0%	2.8%	-	+0.7P	2.1%			
LIXIL Kitchen Tech	0.6%	-0.9%	-	-1.5P	-1.3%			
テクノロジーカンパニー 小計	6.1%	5.1%	-	-1.0P	4.4%			
流通・小売り	2.4%	3.6%	-	+1.2P	3.4%			
住宅・サービス	9.4%	7.0%	-	-2.3P	8.7%			
事業利益率	4.2%	3.1%	-	-1.2P	3.1%	3.9%	-	+0.8P
経常利益	749	579	-171	-22.8%	-	-	-	-
税前当期純利益	491	530	39	8.0%	-	340	-	-
当期純利益	210	220	11	5.1%	-	225	-	-

*ビジネス別事業利益は「のれん償却、取得原価配分前セグメント利益」を表示しています。

2. 2015年3月期上下実績と2016年3月期上下予想

(1)日本基準

単位:億円

	15/3期			16/3期								
	上期実績	下期実績	通期実績	上期予想			下期予想			通期予想		
				増減額	前年同期比	増減額	前年同期比	増減額	前年同期比			
売上高	7,962	8,772	16,734	8,700	738	9%	10,000	1,228	14%	18,700	1,966	12%
事業利益*1	133	384	517	95	-38	-28%	425	41	11%	520	3	1%
事業利益率	1.7%	4.4%	3.1%	1%	-	-1P	4%	-	-0P	3%	-	-0P
当期純利益	38	183	220	-180	-218	-579%	210	27	15%	30	-190	-86%

(2)IFRS(概算値)

単位:億円

	15/3期			16/3期								
	上期実績	下期実績	通期実績	上期予想			下期予想			通期予想		
				増減額	前年同期比	増減額	前年同期比	増減額	前年同期比			
売上高			17,095	9,300			10,000			19,300	2,205	13%
事業利益*1			534	220			530			750	216	40%
事業利益率			3.1%	2%			5%			4%	-	+1P
営業利益*2										400		
営業利益率										2%		
当期純利益										225		

*1 日本基準では従来の「営業利益」、IFRS基準では「売上-売上原価-販管費」(特損益など一時費用を除いた利益)

*2 IFRS基準の「営業利益」

	14/3期 実績	15/3期 実績	16/3期 前提
米ドル	100.49円	110.03円	120円
ユーロ	129.34円	140.71円	130円
タイバーツ	3.18円	3.35円	3.72円
中国人民元	15.81円	17.26円	20.19円

アルミ価格(購入ベース)	22万円/トン	24万円/トン	27万円/トン
銅価格	55万円/トン	59万円/トン	70万円/トン

3. 四半期毎の業績推移(日本基準)

単位:億円

	2014年3月期								2015年3月期							
	上期				下期				上期				下期			
	1Q		2Q		3Q		4Q		1Q		2Q		3Q		4Q	
		前年同期比		前年同期比		前年同期比		前年同期比		前年同期比		前年同期比		前年同期比		前年同期比
金属製建材	1,099	-	1,289	-	1,324	-	1,466	-	1,130	2.8%	1,272	-1.3%	1,254	-5.4%	1,368	-6.6%
水回り設備	810	-	894	-	926	-	968	-	789	-2.5%	847	-5.2%	871	-5.9%	884	-8.7%
その他建材・設備	453	-	507	-	528	-	580	-	438	-3.2%	473	-6.8%	499	-5.5%	491	-15.4%
国内建材類小計	2,361	-	2,690	-	2,778	-	3,014	-	2,357	-0.2%	2,592	-3.6%	2,623	-5.6%	2,743	-9.0%
新築・非住宅	1,688	-	2,035	-	2,028	-	2,266	-	1,675	-0.8%	1,927	-5.3%	1,850	-8.8%	2,068	-8.7%
リフォーム	673	-	655	-	750	-	748	-	683	1.4%	665	1.5%	773	3.1%	676	-9.7%
流通・小売り	482	8.1%	456	7.4%	517	8.2%	496	22.0%	494	2.5%	485	6.4%	545	5.4%	464	-6.3%
住宅・不動産他	150	14.2%	159	2.8%	164	5.4%	169	11.9%	141	-6.1%	152	-4.1%	148	-9.8%	155	-8.8%
国内事業合計	2,993	-	3,304	-	3,459	-	3,679	-	2,992	0.0%	3,229	-2.3%	3,316	-4.1%	3,362	-8.6%
アジア	177	-	235	-	255	-	279	-	235	32.4%	261	11.2%	263	2.9%	325	16.5%
カーテンウォール	409	-	506	-	521	-	614	-	460	12.5%	530	4.9%	530	1.6%	679	10.6%
ASB	-	-	-	-	72	-	219	-	235	-	240	-	250	249.1%	274	24.8%
海外事業合計	586	-	740	-	848	-	1,112	-	930	58.6%	1,031	39.2%	1,043	22.9%	1,277	14.9%
調整額	-95	-	-114	-	-107	-	-120	-	-107	-	-113	-	-112	-	-114	-
売上高	3,484	6.8%	3,931	10.2%	4,201	12.4%	4,671	23.0%	3,815	9.5%	4,147	5.5%	4,246	1.1%	4,526	-3.1%
売上総利益	980	8.1%	1,084	7.6%	1,184	6.6%	1,231	22.3%	1,047	6.9%	1,115	2.8%	1,182	-0.1%	1,129	-8.3%
売上総利益率	28.1%	+0.3P	27.6%	-0.7P	28.2%	-1.5P	26.4%	-0.2P	27.5%	-0.7P	26.9%	-0.7P	27.8%	-0.3P	24.9%	-1.4P
販売管理費	888	1.6%	917	1.5%	934	7.6%	1,049	19.0%	999	12.5%	1,030	12.4%	973	4.2%	954	-9.1%
販管費比率	25.5%	-1.3P	23.3%	-2.0P	22.2%	-1.0P	22.5%	-0.8P	26.2%	+0.7P	24.8%	+1.5P	22.9%	+0.7P	21.1%	-1.4P
金属製建材	72	-	114	-	128	-	99	-	59	-17.6%	83	-27.5%	111	-12.9%	90	-8.6%
水回り設備	44	-	67	-	91	-	54	-	14	-68.2%	33	-50.5%	84	-7.8%	71	30.0%
その他建材・設備	13	-	30	-	37	-	35	-	9	-25.8%	19	-37.6%	26	-29.9%	28	-20.3%
国内建材類小計	128	-	211	-	257	-	189	-	83	-35.8%	135	-36.2%	222	-13.6%	189	0.3%
流通・小売り	12	-	4	-	17	-	9	-	22	78.4%	13	199.8%	30	76.5%	6	-28.7%
住宅・不動産他	13	-	16	-	18	-	14	-	12	-13.1%	9	-40.7%	12	-31.7%	9	-36.0%
国内事業合計*	154	-	231	-	291	-	211	-	116	-24.6%	157	-32.0%	263	-9.5%	204	-3.3%
アジア	-8	-	3	-	15	-	10	-	4	-	10	251.6%	13	-13.4%	12	22.4%
カーテンウォール	7	-	0	-	11	-	29	-	1	-91.8%	12	-	18	65.6%	18	-39.8%
ASB	-	-	-	-	3	-	12	-	10	-	2	-	-2	赤字化	14	15.6%
海外事業合計*	-1	-	3	-	29	-	51	-	15	-	24	-	29	-	43	-
全社費用	-41	-	-45	-	-47	-	-52	-	-58	-	-72	-	-61	-	-57	-
のれん償却等	-20	-	-21	-	-23	-	-29	-	-25	-	-25	-	-21	-	-16	-
事業利益	92	180.3%	168	60.0%	250	3.0%	181	45.3%	48	-47.5%	85	-49.6%	209	-16.4%	175	-3.5%
事業利益率	2.6%	+1.6P	4.3%	+1.3P	5.9%	-0.5P	3.9%	+0.6P	1.3%	-1.4P	2.0%	-2.2P	4.9%	-1.0P	3.9%	-0.0P
経常利益	136	269.1%	153	74.5%	271	4.9%	189	28.0%	45	-66.9%	82	-46.5%	210	-22.6%	242	28.0%
四半期純利益	89	733.3%	88	黒字化	191	5.3%	-159	-	0	-99.5%	34	-61.8%	82	-56.8%	104	-165.2%

*ビジネス別事業利益は「のれん償却、取得原価配分前セグメント利益」を表示しています。

4. セグメント別状況① 国内メーカー群 (金属製建材/水回り設備/その他建材設備セグメント)

■ 国内メーカー群の売上高

単位: 億円

	上期		下期		通期		
	14/3	15/3	14/3	15/3	14/3	15/3	前期比
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	
金属製建材	2,387	2,402	2,790	2,622	5,177	5,024	-3.0%
水回り設備	1,704	1,636	1,894	1,754	3,597	3,391	-5.7%
その他建材設備	960	911	1,108	990	2,068	1,901	-8.1%
国内建材類 小計	5,051	4,949	5,792	5,366	10,843	10,315	-4.9%

■ 国内メーカー群の事業利益

単位: 億円

	上期		下期		通期		
	14/3	15/3	14/3	15/3	14/3	15/3	前期比
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	
金属製建材	186	142	227	202	413	344	-16.8%
水回り設備	111	47	145	155	256	202	-21.3%
その他建材設備	43	28	73	54	116	83	-28.5%
国内建材類 小計	340	217	445	411	785	628	-20.0%

■ 国内メーカー群の事業利益増減要因

<15/3期実績:前年同期比>

単位: 億円

	14/3期 実績	売上減	ミックス と売価	資材価格	為替影響	原価増減	販管費	特殊要因	合計	15/3期 実績
金属	413億円	-43	0	-34	-11	-28	60	-13	-69	344億円
水回り	256億円	-70	-10	-14	-15	49	55	-50	-55	202億円
その他	116億円	-49	2	-4	-8	7	23	-4	-33	83億円
国内建材類 計	785億円	-162	-8	-52	-34	28	138	-67	-157	628億円

<15/3期上期実績:前年同期比>

単位: 億円

	14/3期 実績	売上増減	ミックス と売価	資材価格	為替影響	原価増減	販管費	特殊要因	合計	15/3期 実績
金属	186億円	4	-12	-10	-2	-3	-8	-13	-44	142億円
水回り	111億円	-23	-9	-5	-8	18	13	-50	-64	47億円
その他	43億円	-13	-2	-3	-5	8	5	-4	-15	28億円
国内建材類 計	340億円	-32	-23	-18	-15	23	10	-67	-122	217億円

<15/3期下期実績:前年同期比>

単位: 億円

	14/3期 実績	売上減	ミックス と売価	資材価格	為替影響	原価増減	販管費	特殊要因	合計	15/3期 実績
金属	227億円	-47	12	-24	-9	-25	68	0	-25	202億円
水回り	145億円	-47	-1	-9	-7	31	42	0	9	155億円
その他	73億円	-36	4	-1	-3	-1	18	0	-18	54億円
国内建材類 計	445億円	-130	15	-34	-19	5	128	0	-34	411億円

5. セグメント別状況② 流通・小売りセグメントの状況

■セグメント売上高とセグメント事業利益

単位:億円

	上期		下期		通期			
	14/3	15/3	14/3	15/3	14/3	15/3	前期比	
	実績	実績	実績	実績	実績	実績		
売上高	938	979	1,013	1,009	1,951	1,988	1.9%	
事業利益	17	35	26	36	43	71	67.7%	
うち 建デポ	売上高	128	151	152	157	281	308	9.6%
	事業利益	-18	-8	-10	-4	-28	-13	-

■事業利益増減要因

<15/3期実績:前年同期比>

単位:億円

14/3期 実績	売上増	売価	コスト	販管費	新店費用	建デポ	合計	15/3期 実績
43億円	3	10	4	17	-21	15	+29	71億円

<15/3期上期実績:前年同期比>

単位:億円

14/3期 実績	売上増	売価	コスト	販管費	新店費用	建デポ	合計	15/3期 実績
17億円	5	8	5	3	-12	10	+19	35億円

<15/3期下期実績:前年同期比>

単位:億円

14/3期 実績	売上減	売価	コスト	販管費	新店費用	建デポ	合計	15/3期 実績
26億円	-2	2	-1	14	-9	6	+10	36億円

■店舗数

単位:店

	14/3期 通期実績	15/3期		16/3期 通期予想	前期比
		実績	前期末比		
SVH 出店数	4	1	-3	3	+2
NVH 出店数	0	0	0	1	1
建デポ出店数	4	2	-2	3	+1
閉鎖店舗数	4	1	-3	0	-1
期末店舗数	146	148	+2	155	+7
内SVH	33	34	+1	37	+3
内NVH	9	9	0	10	1
内建デポ	62	64	+2	67	+3
内旧業態	42	41	-1	41	+0

■ホームセンター事業実績

単位:億円

	14/3期 実績	15/3期 実績	前年同期比
事業利益	83	97	16.6%
事業利益率	5.0%	5.8%	+0.8P

■ホームセンター店舗売上伸び率

<15/3期実績>

単位:%

全店ベース	+0.7
既存店ベース	-3.0

※既存店=13/3期以前開店

■ホームセンター客数、客単価の伸び率

<15/3期実績> 単位:%

全店	客数	-0.9
	客単価	+1.7
既存店	客数	-4.1
	客単価	+1.2

6. セグメント別状況③ 住宅不動産セグメントの状況

■セグメント売上高とセグメント事業利益

単位:億円

	上期		下期		通期		
	14/3	15/3	14/3	15/3	14/3	15/3	前期比
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	
売上高	309	293	334	303	642	596	-7.3%
事業利益	29	21	31	21	60	42	-30.9%

■ 会社別の売上高と事業利益

<15/3期実績>

単位:億円

	売上高			事業利益		
	14/3期	15/3期	前年同期比	14/3期	15/3期	前年同期比
	実績	実績		実績	実績	
LIXIL住宅研究所	285	254	-10.8%	20	18	-13.4%
日本住宅保証検査機構 (JIO)	118	113	-4.6%	7	6	-8.1%
ジャパンホームシールド	101	94	-7.0%	13	9	-27.2%
LIXILリアルティ	79	91	15.3%	6	7	9.6%
その他・連結組替	59	44	-	14	2	-
住宅不動産他 セグメント	642	596	-7.3%	60	42	-30.9%

■ 住宅FCにおける契約数と上棟数

(前年数字の計上方法を修正)

契約数

単位:棟数

	通期		
	14/3期 実績	15/3期 実績	前年同期比
住宅FC 計	4,605	3,973	-13.7%

上棟数

単位:棟数

	通期		
	14/3期 実績	15/3期 実績	前年同期比
住宅FC 計	4,087	3,445	-15.7%

7. 商品・サービス別売上状況

(単位:億円)

主要商品名	14/3期 実績	15/3期 実績	前期比 (%)	前年同期比(%)							
				14/3期				15/3期			
				1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
住宅サッシ類	2,152	2,012	-6.5%	8.0	3.5	9.2	11.1	-5.2	-5.1	-8.1	-7.4
エクステリア	1,206	1,164	-3.5%	-2.2	1.8	5.0	19.5	8.3	3.2	-6.4	-17.5
ビルサッシ・シャッター	1,173	1,170	-0.3%	-1.9	2.5	1.8	1.5	5.2	-1.4	1.9	-2.8
衛生機器	1,024	964	-5.9%	1.1	5.1	3.8	19.5	0.8	-4.6	-4.3	-13.3
バスルーム	913	876	-4.1%	5.5	5.8	8.1	16.4	1.6	-3.1	-5.4	-8.6
キッチン	1,060	1,026	-3.3%	6.8	12.2	6.7	-3.4	-5.3	-8.4	-6.8	8.8
洗面化粧台	340	329	-3.4%	5.9	8.5	7.8	22.0	5.6	-2.4	-3.1	-11.0
リビング建材	598	556	-7.0%	18.7	19.1	19.1	31.4	0.6	-3.8	-8.3	-14.4
住宅用外壁材	377	321	-14.9%	3.8	5.3	-5.6	12.3	-5.9	-16.4	-12.3	-23.7
タイル	308	294	-4.5%	-4.5	-1.5	-4.1	7.6	0.6	-3.1	-6.9	-7.7
インテリアファブリック	324	305	-5.9%	-1.6	-0.4	-1.0	11.3	-1.2	-6.9	-8.7	-6.0
構造体・プレカット	375	277	-26.2%	13.9	16.4	14.4	3.0	-25.0	-26.6	-27.2	-24.6
ホームセンター	1,919	1,953	1.8%	7.8	7.4	8.0	21.9	2.6	6.1	5.3	-6.6
海外	2,939	3,934	33.9%	15.2	38.4	45.2	65.9	64.1	42.4	26.6	18.6
その他	1,578	1,553	-1.6%	9.7	5.2	11.0	31.2	5.7	8.4	-2.9	-13.2
合計	16,287	16,734	2.7%	6.8	10.2	12.4	23.0	9.5	5.5	1.1	-3.1

8. リフォーム

ストックビジネス比率推定

単位:億円

	13/3期	14/3期	前年同期比	15/3期	前年同期比
	実績	実績		実績	
ストックビジネス売上	3,274	3,767	15.1%	3,820	1.4%
国内総売上高に占める比率(子会社含む)	26.6%	28.2%	+1.6P	29.8%	+1.6P

リフォーム商材売上

単位:億円

	13/3期	14/3期	前年同期比	15/3期	前年同期比	16/3期	前年同期比
	実績	実績		実績		計画	
リフォーム商材売上	2,479	2,826	14.0%	2,796	-1.1%	2,900	3.7%
リフォーム比率	29.2%	31.0%	+1.8P	32.3%	+1.3P	31.8%	-0.5P

リフォームネットワーク加盟店数

単位:店

	13/3末	14/3末	15/3末
	実績	実績	実績
ボランティア型			
LIXILリフォームネット	9,356	10,203	11,708

単位:店

	13/3末	14/3末	15/3末
	実績	実績	実績
フランチャイズ型			
LIXILリフォームチェーン	377	375	424

*15年4月より「LIXILリフォームショップ」

9. 海外生産比率・海外売上

海外生産比率

生産品目	所在地	海外生産比率	
		14/3期実績	15/3期実績
住宅用アルミサッシ	タイ	26%	27%
リビング建材	中国	46%	43%
衛生陶器	中国・ベトナム	42%	43%
水栓金具	中国・ベトナム	12%	14%
床タイル	中国・ベトナム	53%	53%

海外売上

単位:億円

地域	14/3期			15/3期				
	売上高	ベルマ除く実績	ベルマ実績	売上高	ベルマ除く		ベルマ実績	
					前期比	前期比		
Greater China	764	501	263	845	10.6%	529	5.7%	316
タイ	128	116	12	158	23.2%	139	19.3%	19
ベトナム	96	91	5	100	3.4%	99	8.6%	1
韓国	67	67	1	102	51.2%	100	50.7%	1
その他アジア	167	67	100	182	9.4%	84	24.6%	99
中東	469	0	469	249	-47.0%	0	-73.4%	249
北米	639	296	343	1,568	145.3%	971	-	598
ヨーロッパ	486	5	481	577	18.7%	4	-23.3%	573
その他	122	25	96	154	26.7%	50	95.1%	105
合計	2,939	1,170	1,769	3,934	33.9%	1,976	68.9%	1,959

ご参考:海外販売比率

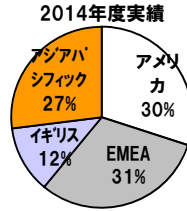
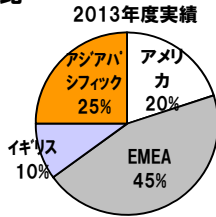
単位:億円

年度	11/3期実績	12/3期実績	13/3期実績	14/3期実績	15/3期実績
海外売上高	400	539	2,051	2,939	3,934
比率	3.3%	4.2%	14.3%	18.0%	23.5%

10. ペルマスティリーザ

通期 = 14年度まで1月～12月
15年度から4月～3月

■売上高構成比



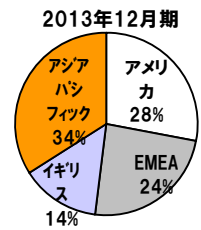
*EMEA=その他欧州、中東、アフリカ地域

■ペルマスティリーザ社の業績推移

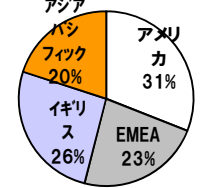
単位:億円

	13/12期 実績 (日本基準 1-12月)	14/12期 実績 (日本基準 1-12月)	前年同期比	16/3期 予想 (IFRS 4-3月)
売上高	1,804	1,982	10%	2,067
事業利益	41	60	46%	96
	%	2.3%	3.0%	+0.8P
のれん等償却	58	57	-2%	22
連結影響事業利益	-17	3	-	74
為替レート 円/ユーロ	129.3	140.7	-	130

■新規受注構成比



2014年12月期



■のれん等

単位:百万ユーロ

	14/3期 期末残高	15/3期 償却額	期末残高	償却年数
のれん	216	24	192	11年
無形固定資産	204	17	187	4~20年
合計	419	41	379	

■受注状況

単位:百万ユーロ

	13/12期 実績	14/12期 実績
新規受注	1,469	1,400
期末残高	1,877	2,051

11. ASB

通期 = 13年度まで1月～12月
14年度から4月～3月

■ASB社の業績推移 (円建て)

単位:億円

	15/3期 実績	16/3期 予想
売上高	999	1,177
事業利益	24	30
	%	2%
のれん等償却	15	6
連結影響事業利益	9	24
為替レート 円/ドル	110.0	120.0

■ASB社の業績推移 (ドル建て)

単位:百万ドル

	13/12期 実績	15/3期 実績	前年同期比
売上高	875	908	4%
事業利益	36	18	-51%
	%	4%	2%
総資産	805	830	3%
有利子負債	259	297	15%
純資産	301	266	-12%

■のれん等

単位:百万ドル

	15/3期 償却額	期末残高	償却年数
のれん	8	150	20年
無形固定資産 (償却対象のみ)	6	123	5-30年
合計	13	273	

12. アジア事業

通期=1月～12月

■連結セグメント アジア事業 (円建て)

単位：億円

	2013年 実績	2014年 実績	前年同期比	
			増減	%
外部顧客への売上高	625	751	126	20%
セグメント間・振替高	322	333	11	3%
売上高	946	1,084	137	15%
事業利益	19	38	19	98%
事業利益率*	3%	5%	-	+2P

* 外部顧客売上高に対する事業利益率

13. GROHE

通期=2014年実績まで1月～12月

■貸借対照表 (現法ベース)

単位：百万ユーロ

	2013年 12月末	2014年 12月末
現預金	99	150
売掛債権	138	190
棚卸資産	136	183
その他流動資産	26	35
流動資産合計	399	558
有形固定資産	166	196
無形固定資産	1,391	1,440
その他固定資産	24	255
固定資産合計	1,581	1,892
総資産	1,980	2,450

	2013年 12月末	2014年 12月末
買掛債務	101	125
短期借入金	1,153	81
その他流動負債	219	269
流動負債	1,473	475
長期借入金	3	1,062
その他固定負債	526	599
固定負債	529	1,661
負債合計	2,202	2,136
自己資本	-22	313

■損益計算書 (現法ベース)

単位：百万ユーロ

	2013年 12月期	2014年 12月期	2016年 3月期予想
売上高	1,120	1,215	1,447
調整後EBITDA	224	234	262
事業利益	182	184	212
税前当期純利益	44	105	151
当期純損益	-106	63	112

14. 連結子会社数と持分法適用会社数の推移 (日本基準)

	14/03			14/06			14/9			14/12			15/03		
	+	-		+	-		+	-		+	-		+	-	
連結子会社	129	1	4	126	2	0	128	0	2	126	0	3	123		
持分法適用会社	5	0	1	4	0	1	3	1	0	4	1	0	5		

■ 新規連結影響額：売上高 664億円、事業利益 -11億円、経常利益 -10億円、当期純利益 -11億円

15. のれん

負ののれん

	14/3期 通期実績		15/3期 通期実績		16/3期 通期予想 (日本基準) 償却予定額
	償却額	残高	償却予想	残高	
アメリカンスタンダード AP	1	1	1	-	-
その他	-	-	1	-	-
合計	1	1	1	-	-
営業外収益 負ののれん償却額	1		1		-
特別利益	-		-		-

単位:億円

正ののれん(販管費、その他無形固定資産含まず)

	14/3期 通期実績		15/3期 通期実績		16/3期 通期予想 (日本基準) 償却予定額
	償却額	残高	償却	残高	
アメリカンスタンダード AP	5	2	2	-	-
AMTORONIC (上海美特の特株会社)	3	-	-	-	-
川島織物セルコン	6	13	6	7	6
驩住海爾住建	7	22	7	17	7
ハイビック	3	7	3	4	3
ベルマスティリーザ	31	313	34	281	30
ASB	7	暫定 422	9	180	9
スターアルビルド	0	4	4	0	4
GROHE	-	-	-	-	* 69
他	7	16	4	5	1
合計	68	800	68	495	129
販管費	66		65		129
特別損失	2		4		-

*再計算中のため、暫定値

16. 近年実施したM&A一覽

海外企業のM&A

単位:億円

実施年月	会社名	狙い	売上規模		取得金額	所有割合	のれん	効果
			取得時	14年度実績				
2009年7月 (一部 2009年11月)	アメリカンスタンダード アジア・パシフィック	衛生陶器(アジア)	235	-	176	100%	のれん 21 知的財産権 35	アジアでの事業プラット フォーム アジア拠点の再編
2011年1月	上海美特カーテン ウォール	ビルサッシ(中国)	120	219	32	75%	5	ビルサッシ中国展開
2011年12月	ベルマスティリーザ	ビルサッシ (グローバル)	1,160	1,982	608	100%	のれん 343 無形固定資産 350	ビルサッシの グローバル展開
2013年8月	アメリカンスタンダード プランズ (ASB)	水回り(北米)	820	999	305	100%	のれん 147 無形固定資産 217	アメリカでの事業プラット フォーム
2013年10月	スターアルビルド	ビルサッシ(インド)	17	6	7	70%	4	インド事業展開
2014年1月 (追加 2015年4月)	GROHE Group	水回り、特に水栓金具 (欧州、グローバル)	1,448	1,709 *1	801	44%→56%	- *2	欧州での事業プラット フォーム
2014年10月	GROHE DAWN WaterTech Holdings	水栓金具、衛生陶器 (アフリカ)	129	151 *3	86	51%	のれん 12 無形固定資産 78	サブサハラ市場への アクセス

*1 グローエは14年度は持分法の対象だが、ここでは2014年12月期(1年間)の売上を記載

*2 第1四半期決算にて確定予定

*3 見込み

日本企業のM&A

単位:億円

実施年月	会社名	狙い	売上規模		取得金額	所有割合	のれん	効果
			取得時	14年度実績				
2010年4月	新日軽	住宅・ビル用サッシ	1,100	2011年4月 LIXILに統合	0	100%	54	サッシシェア50%超へ コスト削減
2010年4月 (一部09年6月)	サンウエーブ工業	キッチン	850		137	80%→ 13年 100%	-61	キッチン首位へ コスト削減
2011年8月 (一部10年12月)	川島織物セルコン	カーテン等内装材	343 *	304	10/12月 22億円 11/8月 株式交換 比率 1:0.035	100%	17	窓回り等での販売シナ ジ、川島ブランドの活用
2011年10月	ハイビック	木材関連	244	197	株式交換 比率 1:0.094	100%	14	木材・プレカット事業 の強化

*事業分離した自動車等内装事業を除く

日本企業との資本・業務提携

単位:億円

実施年月	会社名	狙い	取得金額	所有割合	効果
2010年12月	レオパレス21	賃貸大手 リフォーム等	18	9%→ 13年 5%	レオパレス向け 売上拡大
2013年9月	エディオン	家電量販店リフォーム	50	8%	エディオン向け 売上拡大
2013年10月	シャープ	家電と建材を融合させた 新商品開発	50	1%	新商品開発・売上拡大

17. IFRS/JGAAPの主要な会計処理相違点

	JGAAP	IFRS	15/3期 事業利益インパクト
連結範囲	重要性基準に基づき連結範囲が判定される	全部連結が原則	JGAAP非連結-IFRS連結の子会社分が上積みとなる -2億円
会計期間	最大3ヵ月の決算期のスレは許容される	LIXILグループは3月期決算で統一	12月決算期会社の1-3月分が期スレとなる -4億円
減価償却	日本国内は主として定率法(税法準拠)	定額法に統一(経済便益の予測消費パターンを反映)	新規設備は償却費減、経過設備は償却費増となる傾向 +17億円
のれん償却	20年以内で償却	償却しないただし、毎期減損テスト実施	のれん償却費がそのままPLインパクトとなる +65億円
工事収益	完成基準(一部、進行基準)	原価回収基準(一部、進行基準)	工事収益は期間対応する(進行基準部分は変わらず) -
退職給付	数理差異はPL処理	数理差異はOCI(その他包括利益)へ	運用損益は営業利益に影響しなくなる -43億円
有給休暇債務	該当する会計基準なし	負担すべき債務を見積計上	当期増減額がPLインパクトとなる -13億円

18. IFRS/JGAAP段階利益 (数字は2015年3月期)

IFRSのPLにおいては、段階利益の構造が変更されます。

現状のJGAAPの”営業利益”は、IFRS導入後は”事業利益”として継続管理を行います。

単位: 億円
該当金額

JGAAP	IFRS
売上高 16,734	売上収益 17,095
売上原価	売上原価
売上総利益 4,473	売上総利益 4,552
販管費 +	販管費 +
営業利益 517	事業利益 534
営業外収益・費用 62	その他の収益・費用 70
経常利益 579	営業利益 46
特別利益・損失 24	金融収益・費用 11
税引前利益 530	持分法投資損益 34
法人税等	税引前利益
当期純利益 220	当期純利益

JGAAP営業利益 = IFRS事業利益
 70 (貸倒収入・貸倒原価・その他営業外収益費用等)
 -46 (その他 特別利益・損失)
 24 (受取配当金・受取利息・支払利息・為替差損益 有価証券評価損益等)
 11 (受取配当金・受取利息・支払利息・為替差損益 有価証券評価損益等)
 34 (受取配当金・受取利息・支払利息・為替差損益 有価証券評価損益等)
 -60 (受取配当金・受取利息・支払利息・為替差損益 有価証券評価損益等)
 135 (受取配当金・受取利息・支払利息・為替差損益 有価証券評価損益等)
 112 (受取配当金・受取利息・支払利息・為替差損益 有価証券評価損益等)

特別損益と金融費用・収益を除く営業外損益はIFRS上の営業利益に反映される

報道関係各位

2015年6月8日

2015年3月期決算発表について
1兆6,734億円の売上高と579億円の経常利益
事業基盤は引き続き強固
2016年3月期には1兆9,300億円の売上高と750億円の事業利益を見込む

株式会社LIXILグループ（本社：東京都千代田区、社長：藤森義明、以下LIXILグループ）は、本日2015年3月期の決算を発表しました。連結売上高は前年比2.7%増の1兆6,734億円となりました。Joyou AG(以下Joyou(ジョウユウ))の破産手続開始の申し立てによる影響を受けましたが、経常利益は業績予想レンジの上値に近い、前年比22.8%減の579億円となり、また当期純利益は予想レンジをわずかに下回る前年比5.1%増の220億円となりました。のれん償却影響を除く1株当たり当期純利益(EPS)は、前年比23.5%増の112円でした。Joyouの問題が業績に影響を与えましたが、配当については公表していた予想から変更せず、下期の配当額は30円、通期では60円と決定しました。

2016年3月期の業績見通し

当社は2016年3月期末より国際会計基準(IFRS)を正式に適用する予定です。2016年3月期の業績については、IFRS基準で売上高は1兆9,300億円、事業利益(日本の会計基準の営業利益)は750億円、当期純利益は225億円と予想しています。

社長兼CEO藤森義明のコメントは以下の通りです。「昨年4月の消費税率の引き上げの影響を受けたものの、当社の中核事業が強固であることを示す業績を達成できたと思っています。Joyouの影響はありますが、当社は堅調なテクノロジービジネスを優れた本社機能が横串を刺して強力に支える体制によって、投資家をはじめとするステークホルダーの皆さまに魅力ある価値を提供できると確信しています。この取り組みをさらに進め、2016年3月期には売上高1兆9,300円を実現できると予想しています。」

JOYOUの問題について

2015年6月3日に発表の通り、当社はJoyouによる破産手続開始の申し立てにより、2014年3月期および2015年3月期の損失は合計332億円に達しました。これに伴い2014年3月期の当期純利益を238億円引き下げ、210億円に訂正しました。さらに2016年3月期に最大約330億円の特別損失(当期純利益に与える影響は△220億円)を計上する可能性があります。

当社は藤森を委員長とする「社内調査委員会」を2015年6月3日付で設置しました。外部専門家の援助を得ながら調査を継続し、判明した事実に基づき再発防止策を策定し、法的措置も併せて検討していきます。また、ガバナンス強化の一環として、世界レベルでグループ全体を対象とする全社ビジネス監査組織(コーポレートオーディットスタッフ)を構築します。そして、内部統制に必要な人員配置も行います。

さらに、当社取締役会は、執行役による上記社内調査の結果を検証し、業務執行を適切に監督する観点から、社外取締役および当社と利害関係のない外部有識者で構成される取締役会に報告義務を持つ「特別調査委員会」を本日付で設置することを決議しました。

株主還元

当社は、「のれん償却の影響を除く連結ベースでの配当性向 30%以上を維持する」という配当方針を継続します。2015 年 3 月期ののれん償却を除く配当性向は 53.7%で、来年度は 101%(日本の会計基準)を見込んでおり、年間で 1 株当たり 60 円の配当を維持します。自己株式取得については、資金状況や株価水準を判断し機動的に実施する方針です。

キャッシュフローの改善

グローバル事業の収益寄与の拡大に加え、業務効率の改善とバランスシートの最適化が当社業績に貢献しました。フリーキャッシュフローは前年比 1,445 億円増を達成しています。当社は強力なキャッシュフロー管理と業務の効率化を通じて 2016 年 3 月期までに 1,000 億円のキャッシュを創出し、キャッシュコンバージョンサイクルを 2013 年 9 月の 90.3 日から 2017 年 3 月までに 55 日へと短縮する目標に向けて順調に進行しています。

テクノロジービジネスによる変革の新たなステージの幕開け

さらに藤森のコメントは以下の通りです。「LIXIL Water Technology、LIXIL Housing Technology、LIXIL Building Technology、LIXIL Kitchen Technology の 4 つのテクノロジービジネスと、日本の販売・サービスを担う LIXIL ジャパンカンパニーから成る体制への移行により、私たちの変革は新たなステージへの幕が開きました。今後はこれらのテクノロジービジネスごとに業績を発表し、グローバル一体経営で行うビジネスモデルの成果をお客さまやステークホルダーの皆さまにお伝えしてまいります。」

これらのテクノロジービジネスを順に見ると、まず **LIXIL Water Technology(LWT)** は INAX、GROHE、および American Standard のグローバルブランドを持ち、2015 年 3 月期に 47 億 6,000 万ドルの売上を計上し、2016 年 3 月期には前年比 6%増の 50 億 4,000 万ドルへの成長を見込んでいます。2015 年 3 月期には 4 億 4,000 万ドルの事業利益と 9%の利益率を計上し、2016 年 3 月期には前年比 8%増の 4 億 7,300 万ドル、利益率 9%を見込んでいます。

LIXIL Housing Technology (LHT) は、高い技術に裏打ちされた信頼のブランドを持つ業界のリーダーとしての地位を日本で確立しており、サプライ・チェーン・マネジメントの最適化と最新の工場自動化システムの導入を通じて利益体質の改善を推し進めています。LHT は前年度の 6,071 億円から 2016 年 3 月期は 6,080 億円の売上を見込んでいます。2015 年 3 月期には 356 億円の事業利益と 6%の利益率を計上し、2016 年 3 月期には前年比 15%増の 408 億円、利益率 7%を見込んでいます。

LIXIL Building Technology (LBT) は Permasteelisa、トステム、新日軽などのブランドを持ち、世界中の都市景観を長きにわたって築き続けてきた業界のグローバルリーダーです。2015 年 3 月期には過去最高の 25 億 4,300 万ユーロの売上を計上し、2016 年 3 月期には 26 億 8,000 万ユーロを見込んでいます。2015 年 3 月期には 7,700 万ユーロの事業利益と 3%の利益率を計上し、2016 年 3 月期には前年比 30%増の 1 億ユーロ、利益率 4%を見込んでいます。

LIXIL Kitchen Technology (LKT) は「ヒューマン・フィット・テクノロジー」を実現する業界のリーダーです。中国にはハイアールとの合弁会社を持ち中国ビジネスの拡大を目指しています。市場シェアと収益のいずれも V 字回復を達成する見込みで、2015 年 3 月期には売上 1,137 億円を達成し、2016 年 3 月期には前年比 4%増の 1,180 億円を見込んでいます。2015 年 3 月期は減益でしたが、2016 年 3 月期には事業利益 25 億円と 2%の利益率を計上す

る見込みです。

これらのテクノロジービジネスは、世界中にそれぞれがマーケティングおよび営業組織を持っていますが、LIXIL ジャパンカンパニーは LIXIL の 4 つのテクノロジービジネスの全ての製品とサービスを「トータルソリューション」戦略の下でお客様のニーズに沿って提供しています。

流通・小売り (D&R) 事業と住宅・サービス (H&S) 事業は日本のみで展開している事業です。D&R 事業は急速に成長しており、成長戦略による売上拡大と構造改革による効率化で増収増益を継続し高収益体質を確立します。2015 年 3 月期に過去最高となる 1,988 億円の売上を計上し、2016 年 3 月期には前年比 4%増の 2,070 億円の売上を見込んでいます。2015 年 3 月期には 84 億円の事業利益と 4%の利益率を計上し、2016 年 3 月期には 103 億円の事業利益と利益率 5%を見込んでいます。

H&S 事業には、LIXIL 住宅研究所、日本住宅保証検査機構、ジャパンホームシールド、LIXIL リアルティ、LIXIL イーアールエージャパンなどの事業が含まれます。2015 年 3 月期は 599 億円の売上を計上し、2016 年 3 月期には前年比 4%増となる 620 億円の売上を見込んでいます。2015 年 3 月期には 42 億円の事業利益と 7%の利益率を計上し、2016 年 3 月期にも同じ利益率を見込んでいます。

最後に藤森からのコメントは以下の通りです。「私たちは真のグローバル企業となる段階に入りました。さまざまな業務を各テクノロジービジネスに統合し、これらの新しいビジネスが持つ規模の経済効果を生かし、各国での成功を世界各地に横展開し成長する極めて重要で新たなステージが始まります。」